



グルメ クルマ ネット 住まい

総合トップ 新着順 政治 社会 国際 地域 科学 環境 社説 特集 写真 動画

ホーム > 社会

電源喪失対策の不要理由「作文を」安全委が要請

ツイートする おすすめ 3 おすすめ チェック

福島原発

東京電力福島第一原子力発電所事故の原因となった全交流電源喪失について、国の原子力安全委員会の作業部会が1992年、新たな対策が不要である理由を「作文」するよう、東京電力と関西電力に要請していたことが4日、わかった。

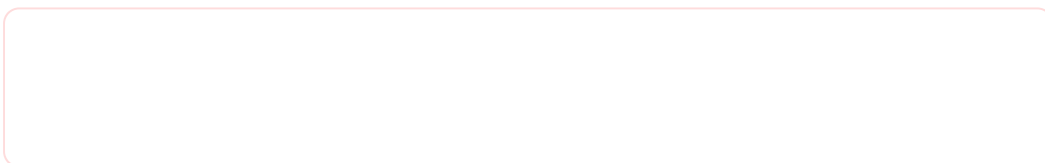


作業部会が両社の作成した文書などを基に「全交流電源喪失による炉心損傷確率は低い」と結論をまとめたため、原発の安全設計審査指針は見直されなかった。安全委事務局は両社とのやり取りに関する文書を公表せずに放置していたが、国会事故調査委員会の指摘で判明した。

作業部会は、海外の原発で長時間の電源喪失への対策が義務

づけられたのをきっかけに91年に設置。有識者の専門委員5人のほか、東電や関電などが協力者として参加した。会議は非公開だった。

(2012年6月4日20時03分 読売新聞)



PR情報

他店がやっ
お店のネッ
ムダなく効
早めの予約
55」発売中

企業の

今週のPICK U



突然
高田
語を
賛!



毎日
運動
ちら



50
キレ
スッ
密?

復興を目指

【解散総選

三菱の電気

ベビ旅&マ